

# 森林と文化

持続可能な村づくり

日時：平成26年12月6日（土） 13:00～15:00

講師：今村 豊（根羽村森林組合 参事）

## 概況



講師 根羽村森林組合 今村 豊 参事

## 第2限 根羽村の木づかい推進に向けた取り組み

～森林資源の活用による持続可能な山村社会の確立に向けて～

根羽村の木づかい推進に向けた取り組みについて、根羽村森林組合 今村参事が講義された。

### 根羽村の概況

根羽村は長野県南部に位置し、地域面積の90%を森林が占める村である。人口は1,189人でその多くが森林所有者・森林組合員であり、村全体で森林資源を活用する取り組みに力を入れている。

### 根羽村の木づかい推進の取り組み

・国土調査の実施 森林の境界と所有者の明確化

国土調査により森林の境界を明確化する取り組みが継続されており、施業箇所選定の基礎データが完備されている。これに基づいた森林施業プランを森林所有者に提示することが出来る。

・木材販売収入を目指す 森林施業プランの提示

森林所有者に施業を行った場合の利益を明確に提示し、さらに提示額より大きな還元金を目指す。また、そうした中で森林組合員の技術とモチベーションを高めやりがいとする。さらに森林施業プランによる密接なコミュニケーションや実績が森林組合への信頼感を高める。

・木の駅プロジェクト 山にある未利用材を地域通貨に

山に捨ててある未利用材を特別用語施設の薪ボイラーに燃料として活用するために村民が集める。未利用材は1m<sup>3</sup>あたり4,500円の地域通貨として引き取り、村民の労働の対価が地域に循環する仕組みとなっており、小中学校にもこの取り組みが広がりつつある。

・地域林業の実践 根羽村トータル林業

伐採・搬出の一次、製材加工の二次、工務店への直送販売による三次産業の6次産業化。一本の木をすべて使う、間伐木をすべて使う、人生のすべてのライフステージで木づかいを進めるなどの取り組みを実践している。

・地域材利用の工務店による住宅見学会 木の集い

根羽スギや遠山スギを使った木造住宅の現地見学会を行い、建築士・工務店の紹介や地域材利用の促進を図る。

・企業による森林整備と地域交流 森林の里親制度

企業からの支援による森林づくり(森林里親制度)や支援企業の社員・家族との交流連携により地域との交流を図っている。本講義では夏や秋に川遊びや林業体験などの様子が紹介された。